

第24回 那覇地区中学校夏季空手道競技大会要項

- 1 主催 那覇地区中学校体育連盟
- 2 共催 沖縄県中学校体育連盟 沖縄県教育委員会 那覇市教育長会 浦添市教育長会
- 3 後援 那覇地区PTA連合会
- 4 期日 令和5年5月20日(土) 開場 8:00 監督会議 8:15
- 5 会場 豊見城市立伊良波中学校 体育館
- 6 申込締切 令和5年4月26日(水)
 ※ 申込書データは地区中体連 HP からダウンロードし、以下のメールアドレスに送信すること。
 osatugu_729@yahoo.co.jp
- 7 申込先 専門部長 瑞慶覧 長嗣 (寄宮中学校)
- 8 抽選 本部抽選とする。
- 9 企画運営 沖縄県中学校体育連盟空手道専門部
- 10 参加資格 学校長が許可した生徒。または、沖縄県中学校体育連盟に登録した地域クラブの生徒。
 ※地域クラブから出場する場合、選手・監督は(公財)全日本空手道連盟の会員であること。
- 11 競技種目 ①団体形(男女別) ②個人形(男女別) ③団体組手(男女別) ④個人組手(男女別)
- 12 参加制限 (1) 団体形・・・男女とも各2チーム以内 ※地域クラブは1団体1チームのみ
 (2) 個人形・・・男女各4名以内
 (3) 団体組手・・・男女とも各1チーム (4) 個人組手・・・男女各4名以内
- 13 競技規則 (公財)全日本空手道連盟競技規定に準じ、県中体連空手道専門部の確認事項および大会申し合わせ事項に従って行う。
- 14 競技方法 (1) 形競技(得点方式)
 ①各ラウンドで使用できる形は、下の表の通りとする。
- | ラウンド | 使用できる形 |
|------------|--|
| 1 | (公財)全空連第一指定形、鉄騎(ナイハンチ)初段～三段、サンチン、ゲキサイ第一、ゲキサイ第二、平安(ピンアン)初段～五段 |
| 2 | (公財)全空連第二指定形 |
| メダル
マッチ | (公財)全空連得意形
※第1・第2ラウンドで使用した形の使用も可能 |
- ②上位進出決定にかかる同点が発生した場合は、形競技第5条「同点の解決」の手順に従う。ただし、ステップ14の「電子コイントス」は行わず再演武とする。
- ③再演武となった場合、使用できる形は本ラウンドで演武した以外の形とする。
- (2) 組手競技は以下の通りとする。(トーナメント方式)
- ① 個人戦
 ア、1分間の4ポイント差で勝負を決する。
 イ、決勝戦のみ1分30秒間の6ポイント差で勝負を決する。
- ② 団体戦
 ア、全試合1分間の4ポイント差で勝負を決する。
 イ、1・2回戦は大将戦まで行う。3回戦以降は、勝敗が決まった段階で試合終了とする。
 ウ、勝者同数の場合は、チームの合計取得ポイント数によって勝敗を決する。チームの合計取得ポイント数が同点の場合は代表戦を行う。
 エ、規定の過半数の選手(2人)で成立する。
- ③ 組手競技は以下の安全具を着用すること。
 ア、ニューメンホー イ、マウスシールド ウ、ボディープロテクター
 エ、拳サポーター(全空連及び全国中空連認定の赤・青)
 オ、セーフティーカップ(男子のみ)
 カ、シンガード、インステップガード(全空連及び全国中空連認定の白色のみ)
 ※団体戦においては出場選手分の防具を装着していること。
- (3) 試合開始時に選手名を「3回」呼ばれても姿を現さない場合は棄権とする。
- (4) 参加人数、チーム数が少ない場合は競技方法を変更することもある。その場合は、監督会にて承認を受ける。
- 15 表彰 競技別に団体、個人とも3位までを表彰する。
- 16 優勝旗 各競技の上位校(選手)に得点を与え、総合優勝校を決定し男女別に優勝旗を与える。
- 17 その他 (1) 選手は必ず学校名を空手着の左胸に縫いつけること。
 (2) 引率者の服装は白のワイシャツかブラウス・ポロシャツで統一とする。

第24回 那覇地区中学校夏季空手道大会「細則」



1 選手の服装など

- (1) 空手着は白無地一色とし、落書きやふちどりのあるものは禁止とする。
- (2) 学校名が左胸にあること。(文字は黒色の縦書きで20 cm×8 cm程度、安全ピンで留めてある場合は棄権とする)
- (3) 上着の袖の長さは、最長手首までとし、肘から手首の間の中ほどより短くてはならない。
- (4) ズボンの長さは、脛を覆うほどの長さとし、踝(くるぶし)が隠れてはならない。
- (5) 競技者は手足の爪を短くし、相手に傷を与えるような物を身につけてはならない。
- (6) 女子選手の髪留めのゴムバンドは黒か茶のみとする。その他の装飾品は認めない。
- (7) 女子の肌着は白無地のTシャツとする。(ワンポイント、校名は認める)
- (8) 競技者の服装が正しくなかった場合、服装を正すために1分間が与えられる。(正せない場合は失格)
- (9) 空手着のヒモは結ぶこと。ヒモなしの空手着は不可とする。
- (10) 帯の長さは、大腿部の3/4を超えない程度とする。また、帯留めは使用してはならない。

2 形競技

- (1) 「(公財)全日本空手道連盟指定形」とは以下の形である。

【第1指定形】 ・糸東流 (セイエンチン、 バッサイダイ) ・剛柔流 (サイファ、 セーパイ) ・松濤館流 (カンクウダイ、 ジオン) ・和道流 (セイシャン、 チントウ)	【第2指定形】 ・糸東流 (マツムラローハイ、 ニーパイポ) ・剛柔流 (セイサン、 クルルンファ) ・松濤館流 (エンピ、 カンクウショウ) ・和道流 (クーシャンクー、 ニーセイシー)
---	---
- (2) 団体形の演武において発声が認められるのは「形の呼名」と「演武中の気合い」のみとする。
- (3) 演武開始の礼と終了の礼をしなかった場合、反則となり得る。

3 組手競技

- (1) 得点となる攻撃部位は下記の通り。
「頭部」、「顔面」、「頸部」、「腹部」、「胸部」、「背部」「わき腹」である。
- (2) 得点の種類は下記の通り。
「1本」= 3ポイント、「技あり」= 2ポイント、「有効」= 1ポイント
- (3) 下記を基準に得点部位への技に対し点が与えられる。
「良い姿勢」、「スポーツマンらしい態度」、「気力」、「残心」、「適切なタイミング」、「正確な距離」
- (4) 禁止行為は下記の2つに分類される
 - ①カテゴリー1 (C1と表記)
 - ・ 攻撃部位への過度の接触技
 - ・ 腕、又は脚部への攻撃、股間部、関節、又は足の甲への攻撃
 - ・ 貫手又は開手による顔面への攻撃(手刀、背刀は除く)
 - ・ 負傷の原因となる危険な、又は禁止されている投げ技、ウエストから下を持つこと
 - ・ 倒した、あるいは倒れた相手に対しての蹴りが当たった場合。
 - ②カテゴリー2 (C2と表記)
 - ・ 「誇張」、「装い」「場外」、「無防備」、「逃避行為」、「不活動」、「不必要な組み合わせ」、「コントロールされていない危険な攻撃」「頭部、膝、肘での攻撃をしようとした場合」、「不作法など」
 - ・ 倒した、あるいは倒れた相手に対しての蹴りが空振りした場合。

4 競技別得点(男女共通)

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
団体形	30	24	18		12		6	
個人形	10	8	6		4		2	
団体組手	30	24	18		9			
個人組手	10	8	6		3			

※同点の場合は競技に参加している人数が多い学校を上位とする。